昭和55年
12月1日号
第179号

町報 つなぎ

発行所 津奈木町役場
編集 企画課
印刷所 旭印刷所

人口と世帯
11月1日現在

人口	6338
男	3035
女	3303
世帯	1702

明るいお正月を迎えるために
＝歳末たすけあい運動 飲酒運転の防止・防犯＝

歳末たすけあい運動
ひとの心の暖かさ
今年の目標額 53億8千万円

「ひとの心の暖かさ―歳末たすけあい」―今年も恒例の「歳末たすけあい運動」が十二月一日から三十一日まで、一か月間にわたって行われます。

この運動は赤い羽根の共同募金運動（十月～十二月）の一環として、十二月に限って毎年行われているもので、生活が困難な世帯や災害被災家庭、ひとり暮らし老人あるいは社会福祉施設利用者に対し、"みんなそろって明るいお正月をむかえられるよう"物心両面の援助をしようというものです。

こうした善意による"たすけあい運動"の起源は、古く"講"にまでさかのぼるといわれ、庶民の互助精神は脈々と今日まで受け継がれて、毎年多くの恵まれない人々に潤ほを、効果をあげています。

保健
先きに環境衛生週間が全国的に色々な行事を実施され、その折、一つの行事として町内のゴミ置場の点検を致しました所、可燃物（もえるゴミ）を出す日に不燃物（金物・ガラス類等）・粗大ゴミが沢山だしてある場所がありました。

ゴミ収集計画表をよく見て、お互い迷惑をかけないように、決められた日の朝九時までに決められたゴミ・だけを、決められた場所に出すようにし、地域環境美化にご協力下さい。

特に悪かったゴミ置場
○竹中鶴野申洋さん宅裏ゴミ置場
① 自転車一台 ガラス・金物類
又包装なし多数
○平国下佐々木定さん宅横
② 金物・ガラス類 十五個
○平国下野崎一孝さん宅横
③ 金物・ガラス類外
包装なし多数
④ ガラス・金物類 十三個
○古中尾山崎直次郎さん宅前
⑤ ガラス・金物類 十二個
又部落別にみますと、平国下四置場、古中尾三置場、染竹福浦・日添各二置場に不燃物又は粗大ゴミを出してありました。

尚、近頃ゴミの分別が悪く、又ゴミ袋の結束、梱包も悪く、たゞゴミを出せばよいと云うのでなく収集する人の身になって出して下さい。

竹中 鶴野申洋さん宅裏

年末年始のゴミ収集
本年十二月二九日と昭和五六年一月五日は町内一斉にすべてのゴミを収集しますので、ゴミの種類毎によく別けて朝九時までに出して下さい。
尚、休みの間（十二月三十日～

国保だより
あなたの医療費は どれ位かご存知ですか？（その2）

①△医療費は増加しています▽
医療費は用率の増加や医学医術の進歩、新しい高度の医療機械の普及などによって年々増えて来ています。本町昭和五十四年度では一人平均一年間で（約二三千円）老人で（約三五二千円）研究治療者分で（約二八二千円）の医療費が使われています。
これは五年前に比べて（約二・四倍）にもなります。そして今後も医療費は増えつづけると思われます。

②△無駄使いはやめましょう▽
国保財政はあなたの家計と同じです。病人が増えれば、医療費が多くなれば、それだけたくさんの保険税をみんなで出し合わなければなりません。
昭和五六年（一月四日まで）は自分の家で保管又は処分し、人に迷惑をかけないようにして下さい。

ガン予防講演会
ガン予防対策講演会を次のとおり行いますので、多数御出席下さるようお願いします。
一、日時及び場所
昭和五十年十二月十一日
十二時三十分から受付
十三時より
津奈木公民館
二、講師 熊大放射線科 吉井弘文先生
三、演題 胃ガンについて
その他映写会があります。

水俣保健所より
水俣保健所での健康診断・相談・検査等の業務は、十二月二十三日までとなっておりますので、必要な方は早目に来所して下さい。

祝電
十日前から
オメデトウ
大安日、週末は祝電ラッシュです。結婚式、成人式などお祝い電報は、十日前から打ちましょう。早目に打ちましょう。
料金も三日以前までなら百五十円の割りになります。
水俣電報電話局

お願い
津奈木郵便局
小包は12月15日
年賀は12月20日 までにお出し下さい。
なお、小包郵便物の包装が不完全ですと内容品の脱出及び破損などのおそれがありますから堅固な包装をお願いします。年賀はがきは郵便番号をお忘れなくあて名を完全に記載して下さい。また差出人の住所氏名がないためお返しすることが出来ず迷子郵便となることがあります。特にお子様がたの年賀はがきには必ず世帯主の肩書を入れてお出し下さい。

国保だより
あなたの医療費は どれ位かご存知ですか？（その2）

悪化することがあります。それは誤った受診の仕方ですし、その上みんなの国保税が無駄に使われることになります。また忙しいお医者さんの事も考えて、夜間休日の診療や往診も、急患の場合以外はできるだけ避けるようにして下さい。

④△かかりつけのお医者さんをもちましょう▽
一家に一人ホーム・ドクターを。ふだんから、かかりつけのお医者さんを決めておくことは大切なことです。あなたの健康をよく知っているお医者さんは病気の時はもちろん、日頃の健康の支えにもなってくれます。行き届いた健康管理は、あなた、医師、そして国保の三人四脚で行われるのが望ましいのです。
○正しい受診笑顔で迎えるお医者さん

国民年金
免除を受けた保険料 追納しましょう

国民年金に加入している人は必ず保険料を納めなければなりませんが家計が苦しいとか、生活保護を受けている人など、経済的な理由で保険料を納めることができない人については、保険料が免除されることになっています。

これが保険料免除の制度ですがこの制度には、免除の事由に該当したときから免除される「法定免除」と申請によって免除される「申請免除」の二つがあります。

法定免除に該当する人は、国民年金の障害年金、障害福祉年金や母子（準母子）福祉年金を受けている人、または生活保護法の生活扶助、らい予防法による生活援助を受けている人などです。

申請免除に該当する人は、所得がない人、世帯員が生活保護法の医療扶助、らい予防法による援助を受けている人などで免除を受けた期間については、その後、生活にゆとりができたときに、過去十年前までさかのぼって納めることができる追納の制度があります。

追納した期間は、年金額の計算のときに、保険料を納めた場合と同じように計算されます。

このようなときには、市町村役場で免除の手続きをとってください。免除を受けた期間は、年金額を計算するときに、1/3の額となります。

そこで免除を受けた期間については、その後、生活にゆとりができたときに、過去十年前までさかのぼって納めることができる追納の制度があります。

追納した期間は、年金額の計算のときに、保険料を納めた場合と同じように計算されます。

おわびと訂正
11月1日付発行の町報つなぎの津奈木町財政事情の表6.基金の中で

（誤）

区分	金額(千円)	区分	金額(千円)
財政調整基金(一般)	153,299	土地開発基金	5,982
全上（水道）	4,324	国民年金印紙購入基金	2,500
診療費支払基金(国保)	40,368	奨学基金	5,896
退職手当基金	2,647	合計	215,016

と書いておりましたが、基金額を誤って書いておりましたので、下記のとおり訂正し、深くおわび致します。

（正）

区分	金額(千円)	区分	金額(千円)
財政調整基金(一般)	146,478	土地開発基金	6,301
全上（水道）	5,755	国民年金印紙購入基金	2,500
庁舎建設基金	30,000	奨学基金	7,279
診療費支払基金(国保)	48,990		
退職手当基金	10,288	合計	257,591

みなさまの善意による寄付金
昨年はこのように使われました
（昭和54年度 歳末たすけあい運動）

精薄・肢体不自由児(者) 約2971名に	8億7250万9千円
恵まれない子供たち 約19万人に	5億7833万5千円
成人施設入居者 約5万9千人に	1億7421万9千円
老人施設・ねたきり老人 約42万人に	12億5526万2千円
長期療養患者 約16万人に	4億7833万1千円
生活困難世帯 約79万5千人に	23億8256万1千円
災害地・辺地・その他 約12万5千人に	3億7669万5千円
約204万人に	計61億1791万2千円

製造業のみなさんにご協力を
昭和55年
工業統計調査
エネルギー消費構造統計調査

ご芳志お礼
部落 世帯主 故人
日添 正木 信義 サカ
新川 浜本 満 サカイ
倉谷 大森 悟 陽介
右の方から町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封ご寄付されました。この寄付金はご意志に添い、有効に利用させていただきますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

B&G財団
地域海洋センターを誘致しよう
第二次現地調査終る

先日の町報で、お知らせしました、B&G財団（会長笹川良一）の第二次現地調査が、期日が早まり、十二月十八日実施されました。

午前八時三十分、B&G財団、中北専務理事、三橋設計事務所、財団施設担当者の三名が来庁されました。

調査日程打合せの後、就業改善センターに於て、町会議員、体育、PTA関係及び町内の各団体代表者、各学校長等、約九十名参集する中で、中北専務理事の、B&G団体の事業活動並びに、地域海洋センター建設についての詳しい講演があり、研修室で、実地調査に入り、関係者立会の中で、第一回調査事項の確認と、建設実施計画上の打合せ、建設後の運営上の諸問題等について突込んだ討議がなされました。又艇庫の用地の造成についても、現地でつぶさに検討され、せり舟も一緒に保管出来る大型の艇庫が計画に盛りこまれそうです。正午すぎ調査は完了しましたが、この調査の結果よりは、正式には、十二月十六日の理事会で、全国の本年度分四十五カ所の中から、三十ケ所が選ばれ午後時には決定されましたので町村に、直接電話で通知されることになっています。

▲ 中北専務理事への説明

▼ 中北専務理事の講演

してでかけ、ついに二つのルートからチョモランマ登頂に成功しました。

私は本隊に隊員の健康を守る医師として、また偵察の経験を生して日中相方のパイプ役として参加しました。北東稜隊の第四キャンプの時は七千米の第四キャンプに滞在して、登頂隊員、サポート隊員を見守りました。五月二日には七千六百米の第五キャンプまで登ることができ、隊員達からは年令（五十才）の割には元気な強いドクターと、隊員達から頼りにされていたようです。

（筆者の横顔）
斉藤憐生氏は、故斉藤亀令元町長の御子息で、京大出、新川端病院長本職は外科医。豊富な運征経験から何でもこなす"ヒマラヤ博士"昨秋チョモランマ偵察隊長として

チョモランマ（エベレスト）登山に参加して
斉藤憐生

今年の三月より五月にかけて三ケ月間、日本山岳会は、中国のチベットとネパールの国境にそびえる世界最高のチョモランマ峰（別名エベレスト・八八四二米）に登山隊を派遣しました。この登山隊は、第二次戦後始めて中国から入国を許可された外国隊でした。

日本全国から選ばれた二六名の優秀な登山家と、報道関係（新聞・テレビ）十三名、計三九名の日本人。それに中国の登山協会より応援に来た中国人四三名が日本と中国の国家的威信をかけてチョモランマに挑みました。零下三十度を越すきびしい寒さ、時には一歩も踏み出せめような強い風、平地の二分の一から三分の一の酸素しかないために起る高山病（頭痛・めまい・嘔吐・心臓衰弱・むくみ肺水腫など）に悩みながら、急峻な岩壁・氷壁に隊落の恐怖と戦いつづけ、ついに五月三日には、北東稜、五月十日には北壁隊が登頂に成功し、日中両国の旗を頂上にかざしました。ヒマラヤの八千米以上の巨峰で、一つの隊が二つのルートから同じ時期に成功したのは、世界の登山史上始めての画期的のことです。

私は西堀栄三郎日本山岳会長（京大の先輩、第一次南極越冬隊長）の要請を受け、本隊に先だって昨年秋二ケ月間、偵察隊長として九名の日本人隊員、十四名の中国の国家的威信をかけて中国協力隊員と、諸に現地に入り、宿舎・道路・輸送・食糧・高度の影響を調べ、そして実際にチョモランマの北東稜、北壁の二つのルートを試登しました。

西堀隊長が私を偵察隊長に選ばれたのは、私がこれまで二回、昭和三七年にはサルトロ・カンリ峰（七七四二米）、昭和四八年にはヤルン・カン峰（八四〇五米）のヒマラヤ遠征に参加していると、中国語が少し話せること、医者であることなどの理由からでした。

私どもの偵察の結果をもとに、本隊は作戦をたて、周到な準備をしてでかけ、ついに二つのルートからチョモランマ登頂に成功しました。

私は本隊に隊員の健康を守る医師として、また偵察の経験を生して日中相方のパイプ役として参加しました。北東稜隊の第四キャンプの時は七千米の第四キャンプに滞在して、登頂隊員、サポート隊員を見守りました。五月二日には七千六百米の第五キャンプまで登ることができ、隊員達からは年令（五十才）の割には元気な強いドクターと、隊員達から頼りにされていたようです。

（筆者の横顔）
斉藤憐生氏は、故斉藤亀令元町長の御子息で、京大出、新川端病院長本職は外科医。豊富な遠征経験から何でもこなす"ヒマラヤ博士"

交通事故をなくして 明るい新年を迎えよう

「B&G財団、津奈木海洋センター」の設置が決定されるよう願って止みません。

B&G海洋クラブ結成準備中
海洋クラブの結成に当っては、次のような期待以上の多数の方の参加申込みを受け、感激いたしております。御協力の程有難く厚く御礼申上ます。

津奈木校区	四七二名
赤崎校区	二四〇名
平国校区	三五八名

カヌー、ヨット等の器材は十二月中に配備される予定です。

日の丸の御礼
長盤岩の日の丸を御寄贈くださいと、先月号でお願い致しましたところ、新川部落出身の水俣市天神町（警察署うら）国松整骨院 国松 功さんから日の丸（〇旗（りゅう））を寄贈して頂きました。

又、昭和六年津奈木小学校卒業生といわれる匿名氏から、当時、学校で軍事教練をしたところ好評を得、森少佐、水田少尉からお祝として頂いた金を基金に作ったものです。当時の関係者はほとんど戦死しておられ、卒業から丁度五十年の記念に是非掲揚してくださいと手製の一旗を届けられました。

長盤岩の日の丸掲揚が絶やさないための善意の御寄贈を心より感謝致します。

年末年始 交通事故防止
昭和55年12月1日より
昭和56年1月14日まで

運転の重点
1、無謀運転、特に飲酒運転の絶滅
2、子供と老人の交通事故防止
3、シートベルト着用の推進

飲酒運転絶滅
「事故を呼ぶ 酒が 被労がスピードが」。年末年始は一年中で一番酒を飲む機会が多い時期です。飲酒運転の事故の悲惨さと飲酒運転の罪悪性を充分認識し「飲んだら乗らない。乗るなら飲まない」を徹底しましょう。

家庭では（婦人会決議済）
○家族（免許所持者）が酒を飲んだ時は車の「カギ」は必ず主婦が保管する。
○車を運転して来た客には、絶対にアルコールを出さない。
「一つぱい位なら」はダメ。
○初詣、年始まりのとき、運転者には飲酒させないようする。

職場では
○飲酒運転は絶対許さない職場規律を確立しよう。
○出勤、退勤時に交通安全の一声を呼びかけよう。

皆んなの力でストップ交通事故
年間を通じて交通事故防止のため、あらゆる団体が協力し、町民みんなが交通安全運動に参加してきましたが依然として交通事故をなくす事はできません。
交通事故をなくす運動は一人一人が気をゆるめないで、地域ぐるみ、職域ぐるみ、家族ぐるみで進め、交通事故の加害者になることは勿論、被害者にならないよう努めたいと思います。「安全は、家庭の中からしつけから」

シートベルトを着けよう
シートベルトは命づな、車に乗る人は誰でも常に死傷の危険にさらされているといえます。

衝突事故を起こしてもハンドルをしっかり握って腕や体を支えれば大丈夫と思っている人が多いようですが、仮に時速二〇キロメートルで衝突したとうなるか、衝突の瞬間に体重の六～七倍の力が体にかかります。あなたの体重が六十キロなら、三百六十キロから四百キロの衝撃に見舞われるのです。人間が支えられるのは、両腕で五十キロ、両脚で百キロ程度が限界です。いかにあなたの体が頑強であっても四百キロの衝撃には耐えられません。

シートベルトを着けていなければ、フロントガラスに頭を突っこんだり、車外に投げ出されて死傷の原因となります。

シートベルトを着用していれば体は座席に保持されるので負傷が軽くてすみ、命をおとすこともありません。

県下の十月までの四輪車の運転または同乗中の死亡事故は四十二件四十八人となっております。この内シートベルトを着けておれば三十七件四十二人は助かったとみられ、特に車の自損事故で死亡した二件二人を除く二十四人の内、十九件二十三人は確実に死亡を免れたはずといわれています。

大事な御主人、子供さんの命を守るため、家族を悲しませない為明日からといわず、今からすぐに「シートベルトをつけましょう」の一声と、面倒がらずに着装を実行しましょう。

酒酔一パツ 運転取消し
スピード四〇キロ規制の所を、「少し位のオーバーなら」と四五キロで走る!!「酒は強いんだから盃一つぱい位は」「飲んでから大分たつから」と、この位なら大丈夫と思う油断、少し位越えても、自信があるからという心のゆるみが、重大事故につながります。

"きまり"を守る事が交通事故を防ぐ第一歩です。一人一人がルールを守って交通事故を追放しましょう。

これ位と思う油断が事故のもと